

株式会社ブリヂストン
広報部
東京都中央区京橋3丁目1番1号
〒104-8340
電話：03-6836-3333
FAX：03-6836-3184
<https://www.bridgestone.co.jp>

2026年6月25日

鈴鹿8時間耐久ロードレース19連覇に向け、万全な準備を完了 熱い戦いを足元から支え、レースで得られた多様な知見を市販タイヤ開発の進化へつなげる

株式会社ブリヂストン（以下、ブリヂストン）は、7月3日（金）から5日（日）に三重県の鈴鹿サーキットで開催される「2026 FIM^{※1}世界耐久選手権（以下、EWC） “コカ・コーラ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 第47回大会」（以下、鈴鹿8耐）に参戦します。ブリヂストンのモーターサイクル用プレミアムタイヤブランド「BATTLAX」を供給するサポートチーム数は、EWCに年間を通じて国内外から参戦する7チーム、鈴鹿8耐に国内からスポット参戦する15チームを合わせて22チームになります。EWCシリーズチャンピオン獲得を目指すチームと、鈴鹿8耐に照準を定めてスポット参戦するチームによる熱い戦いを足元から支え、2006年から常勝を続けている夏場の風物詩の伝統的なレースで19連覇達成を目指します。



第46回大会（2025年）の様子

当社の二輪モータースポーツ活動を代表するレースであるEWCでは、ブリヂストンタイヤ装着チームが昨年まで5年連続でシリーズチャンピオンを獲得^{※2}しています。EWC連覇を達成する上でも重要な一戦である鈴鹿8耐は、路面温度の高い日中から、温度が急降下する夜にかけて行われるため、刻々と状況が変わる過酷な耐久レースです。当社は、その過酷なレースにおいて、万全の準備で多くの参戦チームの足元を支え、レースで得られた多様な知見を市販タイヤの進化へつなげています。

■株式会社ブリヂストン モータースポーツタイヤ開発部長 松本 真幸のコメント

ブリヂストンでは、モータースポーツ活動を「走る実験室」として、技術を磨き続けています。ライダーの皆様からいた

だいた貴重なご意見を踏まえ、昨年よりもライダーが扱いやすく、グリップ性能を向上したタイヤを開発しました。また、「エクスペリメンタルクラス」に参戦するチームスズキ CN チャレンジ^{※3}に、再生資源^{※4}・再生可能資源^{※5} 比率を昨年対比向上させたタイヤを供給します。原材料の調達段階からタイヤを使い終わるまでのライフサイクルの CO₂ 排出量削減を目指し、タイヤが地面に接するトレッド部と側面のサイド部に新たにバイオ由来の原材料を用いたゴムを搭載しました。これは原材料の選択肢を広げながら将来のカーボンニュートラル化に向けた可能性を検証する取り組みのひとつです。さらに、昨年スペック以上のグリップ性能を発揮できるよう、トレッドコンパウンドの配合内容見直しも実施しています。チームスズキ CN チャレンジの皆さん、そして EWC クラスで共に戦う 21 チームの皆さんと One team で挑むレースが今から楽しみです。

ブリヂストンは、モーターサイクル用プレミアムタイヤブランド「BATTLAX」とサステナブルなグローバルモータースポーツ活動を通じ、安心・安全で楽しいモーターサイクル文化やモータースポーツ文化の発展に貢献していくことで、企業コミットメント「[Bridgestone E8 Commitment](#)」で掲げる「Emotion 心動かすモビリティ体験を支えること」にコミットし、10 年後、20 年後にも「走るわくわく」を提供しつづけていきます。

※1 FIM 国際モーターサイクリズム連盟（Fédération Internationale de Motocyclisme）の略称。

※2 [世界最高峰 2 輪耐久レース「2025 FIM 世界耐久選手権」でブリヂストンサポートチーム「YART - YAMAHA」がシリーズチャンピオンを獲得、上位 4 位を独占 | ニュースリリース | 株式会社ブリヂストン](#)

※3 [スズキ、2026 年の鈴鹿 8 時間耐久ロードレースと全日本ロードレース選手権に「チームスズキ CN チャレンジ」で参戦 | スズキ](#)

※4 再生資源（Recycled Material）

回収（再生）された材料を再加工して製造され最終製品や部品に使用される材料。（ISO 14021: 2016 の定義に基づく）

※5 再生可能資源（Renewable Material）

継続的に補充される生物由来のバイオマスからなる材料（バイオ由来の材料）。補充速度が枯渇速度以上であることが条件。（ISO 14021: 2016 の定義に基づく）

< 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース概要 >

- (1) 名称 : 2026 FIM 世界耐久選手権 “コカ・コーラ”鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 47 回大会
- (2) 日程 : 2026 年 7 月 3 日（金）～5 日（日）（決勝 5 日 11：30～19：30）
- (3) 会場 : 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース（1 周／5.821km）
- (4) 主催 : 一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）、
ホンダモビリティランド株式会社 鈴鹿サーキット

< ブリヂストンサポートチーム（合計 22 チーム） >

< クラス：Formula EWC（EWC）（21 チーム） >

通年参戦	No	Team	ライダー		
○	1	YART Yamaha Official EWC Team	Karel HANIKA	Marvin FRITZ	Leandro Denis MERCADO

○	5	F.C.C. TSR Honda France	Alan TECHER	Corentin PEROLARI	John MCPHEE
○	11	Kawasaki Webike Trickstar	Roman RAMOS ALVARO	Christian GAMARINO	Grégory LEBLANC
○	12	Yoshimura SERT Motul	Gregg BLACK	Dan LINFOOT	Cocoro ATSUMI
○	37	BMW MOTORRAD WORLD ENDURANCE TEAM	Markus REITERBERGER	Steven ODENDAAL	Michael VAN DER MARK
○	76	AutoRace Ube Racing Team	Naomichi URAMOTO	Sylvain GUINTOLI	Hannes SOOMER
○	99	Elf Marc VDS Racing Team / KM99	Randy DE PUNIET	Florian MARINO	Alessandro DELBIANCO
-	3	SANMEI Team TARO PLUSONE with SDG	Taro SEKIGUCHI	Tatsuya NAKAMURA	Keisuke TANAKA
-	17	Astemo Pro Honda SI Racing	Kohta NOZANE	Taiga HADA	Kohta ARAKAWA
-	20	Honda Suzuka Racing Team	Ben YOUNG	Genki NAKAJIMA	Maiku WATANUKI
-	21	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	Katsuyuki NAKASUGA	Jack MILLER	Andrea LOCATELLI
-	23	KPR SANYO KOGYO & RS-ITOH	Yuto SANO	Katsuto SANO	Riku SUGAWARA
-	30	Honda HRC	Takumi TAKAHASHI	Jonathan REA	Somkiat CHANTRA
-	31	TEAM SUGAI RACING JAPAN	Yoshiyuki SUGAI	Yasuhiro MATSUKAWA	Varis FLEMING
-	40	Team ATJ with NTT docomo Business	Satoru IWATA	Kohki SUZUKI	Takuma KUNIMINE
-	50	MARUMAE Team KODAMA	Yuta KODAMA	Max STAUFER	Takumi Takahashi
-	59	Team BabyFace TitaniumPower	Kazuma TSUDA	Shota ITE	Rei MATSUOKA
-	71	Team SAKURAI HONDA	Kazuki ITO	Daijiro HIURA	Ryusei YAMANAKA
-	73	SDG Team HARC-PRO. Honda	Yuki KUNII	Teppei NAGOE	Keito ABE
-	88	Honda Asia-Dream Racing with Astemo	Nakarin ATIRATPHUVAPAT	Khairul Idham PAWI	Adenanta PUTRA
-	95	S-PULSE DREAM RACING SUZUKI	Sho NISHIMURA	Jonas FOLGER	Jérémy GUARNONI

<クラス：Experimental (EXP) (1チーム)>

通年 参戦	No	Team	ライダー		
-	0	Team SUZUKI CN CHALLENGE	Takuya TSUDA	Ryo MIZUNO	Etienne MASSON

※上記参戦体制は、6月22日時点のもので、変更となる場合があります。

※通年参戦、スポット参戦チームごとに、ゼッケン番号に基づいた順でチーム名を掲載しています。

Web サイトでは、レース速報や見どころなど、鈴鹿 8 耐に関する様々な情報を順次配信していきますので是非ご覧ください。

- [EWC/鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 速報・レースレポート \(ブリヂストンモータースポーツサイト\)](#)
- [スペシャルコンテンツ \(ブリヂストンモータースポーツサイト\)](#)
- [@BS_MCsport \(ブリヂストン二輪車用タイヤの公式 X \(旧 Twitter\) アカウント\)](#)
- [@BSMS_2 \(ブリヂストンモータースポーツ 2 輪公式 X \(旧 Twitter\) アカウント\)](#)

<ブリヂストン特設ブース>

会場内のブリヂストン特設ブースでは、「BATTLEAX」に込めたプライドやこだわりをテーマに、「BATTLEAX」の新商品や、鈴鹿 8 耐にゆかりのあるゲストを招いてのトークショーなどを通じて、モータースポーツやバイクの魅力をお伝えします。下記の通り、様々な展示や企画を予定しておりますので、是非お越しください。

- ブリヂストンが「極限」の場であるモータースポーツで戦うレース用タイヤや、レースで培った技術を活かした「BATTLEAX RACING STREET RS12」をはじめ、市販用タイヤの技術力や性能を体感できる展示
- 鈴鹿 8 耐に出場するライダーや監督、レースを盛り上げるゲストによるトークショー
- ブリヂストンタイヤ装着チームの応援グッズプレゼント企画

その他、レース車両やバイクのまたがり体験やブリヂストンタイヤ装着チームの応援グッズプレゼント企画など、幅広いお客様に楽しんでいただけるコンテンツをご用意しています。特設ブースは、7月3日（金）～5日（日）に出展予定です。



ブリヂストン特設ブースのイメージ

(1) 主な展示

【タイヤ】

■ 市販タイヤ (4 種)

スポーツ： 「BATTLEAX RACING STREET RS12」「BATTLEAX HYPERSPORT S23」

ツーリング： 「BATTLEAX SPORT TOURING T33」

アドベンチャー：「BATTLEAX ADVENTURE A41」

■ レース装着タイヤ（2種）

HRC「2025年鈴鹿8耐 優勝時装着タイヤ」

チームスズキCNチャレンジ「2026年鈴鹿8耐で装着する再生資源・再生可能資源比率を向上させたタイヤ」

【車両】

■ SUZUKI「Yoshimura SERT Motul」（2026年参戦車両）

■ SUZUKI「鐵隼-TETSU-BUSA-」

■ BMW「M 1000RR」

（2）主なイベント

■ 鈴鹿8耐にゆかりのあるゲストを招いてのトークショー

■ バンクまたがり体験

■ タイヤウォーマー体験

■ Bマークロゴ氷柱削り実演&展示

■ SNS投稿キャンペーン

■ プリヂェストンタイヤ装着チームの応援グッズプレゼント企画

イベントの詳細は、[鈴鹿8時間耐久ロードレース特設ページ（プリヂェストン二輪車用タイヤサイト）](#)をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

<報道関係> 広報部 TEL：03-6836-3333

<お客様> お客様相談室 TEL：0120-39-2936

以上